

## 草の根技術協力（地域活性型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	タイ王国
2. 案件名	タイ国自治体ネットワークによる地域資源活用型高齢者ケアモデル普及と国境を越えた学び合いプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	タイでは急速に高齢化が進むが、公的制度のみでは、費用やサービス提供地域に制限がある。そのため、自治体主導で地域資源を活用した持続可能な高齢者ケアシステムが求められている。同国では 2022 年度から 2025 年 7 月まで JICA 草の事業「自治体ネットワーク」を活用した高齢者ケア普及プロジェクトが実施され、プロジェクトに加盟する自治体は 39 ヶ所に拡大し、タイ全土で認知症対策、在宅高齢者ケア、レスパイトケアなどが広がるなど大きな成果をあげた。成果を確実なものとし、タイ全土に普及していくために本事業を行う。
4. プロジェクト目標	自治体ネットワークの運営体制が確立し、地域の住民、有償／無償ボランティア、企業、公共施設など地域の資源を最大限活用した持続可能な高齢者ケアモデルのマニュアルやガイドラインが整備され、自治体ネットワークに加盟する各自治体で適用、活用、実施される。
5. 対象地域	タイ全土の地域、規模、宗教、産業などの多様なバランス配慮した約 39 箇所の自治体
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者：タイの自治体ネットワークの職員 間接受益者：タイの自治体ネットワークの住民（39 ヶ所の自治体の住民約 80 万人）
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. 地域資源活用型高齢者ケアモデル実施に必要な認知症ケア、口腔ケア、栄養などの技術が主要自治体で習得され、自治体ネットワークを通じて各地に広がる。 2. 湯河原町とタイで様々なレベル／形態で、持続可能な形で高齢者ケアに関する様々な学び合いが実施される体制が整備され、実施される。 3. タイの基礎自治体ネットワークが効果的に持続可能な形で維持発展する体制が整備され、運営され、その結果として学び合いの成果による活動が各地で実施される。 <活動> 1. 現地の多様なニーズ、より専門的に求められるニーズに適応した技術の指導 2. 湯河原町を含む日本とタイ国内の自治体の学び合いが持続発展するシステムの確立 3. タイ国内の自治体が相互に学びあうシステムの確立のための支援
8. 実施期間	(西暦) 2026年3月～ 2029年2月(3年0ヵ月)
9. 事業費概算額	59,827千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	カウンターパート：パトムタニ県ブンイトー市 協力機関：自治体ネットワーク加盟 39 自治体、タマサート大学、チュラロンコン大学、社会開発人間安全保障省など

<b>Ⅱ. 団体の概要</b>	
1. 実施団体	神奈川県湯河原町
2. 主な活動内容	神奈川県西部、面積約 40 平方キロ、人口 2 万 2 千の地方公共団体。健康増進/介護予防活動が盛んで介護認定率が低い、またインバウンドや町内勤務外国人との共生の機運も盛り上がり、外国人との共生を通じて町内の活力向上に積極的に取り組む。